

一乗地区の誇り

三峯山城跡に登って一乗谷を見てみませんか！



三峯は(404.5M)、鯖江市北山中地籍にあり、南北朝時代の延元3(1380)年、脇屋義助(新田義貞の弟)が初めて、足羽・今立両郡の境にある三峯山に三峯城を築いた。戦国時代には朝倉の支城でもあった。遠くから眺めると三つの峯が見え、越前の喉元を抑える要所である。鹿俣町有志の協力により、一乗からの登山道が整備され初心者でも登れるようになった。毎年「三峯城跡探索ウォーク」が開催され、所要時間は片道約1時間。一度登ってみてはいかが。



大イチョウの木周辺で、三峯城、三峯村、三峯寺などの歴史を学ぶ。



「三峯城跡探索ウォーク」の開催時には地元の女性の協力で「しし鍋」「おにぎり」のふるまいを行っている。



一乗公民館 館長
山口 藤章さん

館長の山口さんは、「地元の有志によって整備された登山道に登って、福井平野・一乗谷の全貌を楽しみ、一汗かいた後は美味しいしし鍋とおにぎりで自然を満喫してください」と話す。

一乗公民館

住 所／福井市西新町1-31
電 話／0776-43-2001
交通機関／京福バス「西新町」バス
停から徒歩3分